

TOTO
KITCHEN

組立・設置説明書

システムキッチン
スタイルFシリーズ

- 本書を必ずお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- 取扱説明書・保証書は必ずお客様にお渡しください。

1.必ずお守りください	1
2.取り付け前の確認	3
3.キッチンパネルの取り付け	7
4.ウォール部の取り付け	8
5.天井フィラーの取り付け	11
6.フロアキャビネットの取り付け	13
7.キッチンカウンターの取り付け	16
8.排水金具の取り付け	17
9.エンドパネルの取り付け	18
10.包丁差し	18
11.扉と引き出しの取り付けと調整	19
12.調理機器の取り付け	24
13.水栓金具の取り付け	24
14.照明の取り付け	24
15.周辺商品の取り付け	25
16.オプションの取り付け	25
17.コーキング処理	25
18.清掃・検査・養生	26

1 必ずお守りください

取り付け前に、この安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この説明書ではシステムキッチンを安全に正しく取り付けていただき、使用者や他の人々への
危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	絵表示の意味
	この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

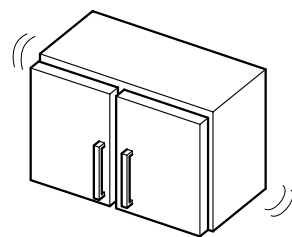
- 取り付け完了後、試運転および各部の点検を行い異常のないことを確かめてください。
- 本体に付属の取扱説明書はお客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように、各種取扱説明書は必ずシンクキャビネット内にまとめてお引き渡しください。

警告

**ウォールキャビネットは、建築壁の構造を確かめて確実に
取り付ける**

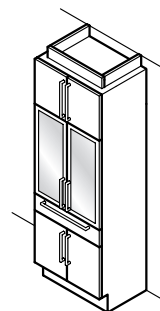
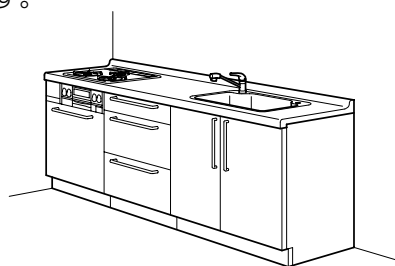
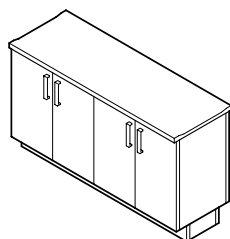
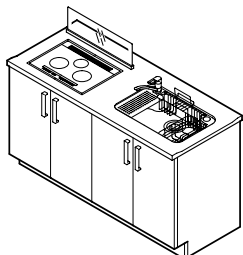
取り付けを誤ると、使用中に取付ねじがゆるみウォールキャビネットが
落下して、けがをするおそれがあります。

※ 下地材は木さん (90mm×30mm) を使用してください。合板を使用する場合は必
ず厚みが12mm以上のJAS規格品を使用してください。



**フロアキャビネットは必ず壁面に固定する
対面レイアウト (両面フロアキャビネットなど) は必ず床固定する
ツールキャビネット (収納ユニット) は必ず壁面に固定する**

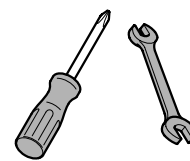
キャビネットが転倒してけがをするおそれがあります。



⚠ 警告

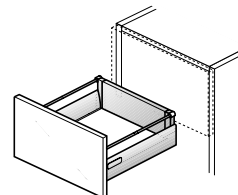
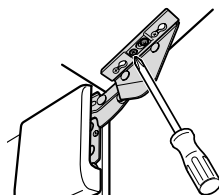
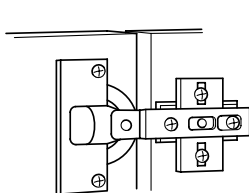
水道・ガス・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格・指定業者」が行う

火災・感電・水漏れ・ガス漏れの原因となります。



取り付け完了後は、扉や引き出しの傾き・がたつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する

扉の取り付けに異常があると、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

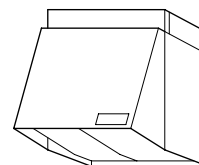


ステンレスカウンターやシンクなどの金属製品を取り扱うときは、必ず保護手袋をする

切断面に触れるとけがをするおそれがあります。



キッチンに組み込まれている水栓・調理機器・フード・その他機器については、それぞれの商品の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取り付けを誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。



取り付け・仕上げに使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などに記載の注意表示に従って正しく使用する

誤った使い方をすると、人体に影響が出たりキッチン部材の損傷や劣化の原因になります。



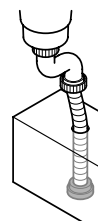
丁番やレールの位置をずらす改造をしない

扉や引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。

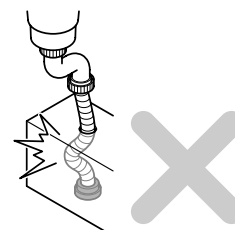
⚠ 注意



排水管の接続部は、組立・設置説明書に従って必ず接続する
接続部にすき間があると、不快なおいやカビの発生および水漏れの原因になるおそれがあります。



ジャバラの排水管（付属品）で接続する場合はU字型に曲げたり、折り曲げて取り付けない
排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります。



2 取り付け前の確認

1. 下準備と確認

※別紙施工図を基に取り付け木さん・給排水位置および電源・コンセント位置を確認してください。

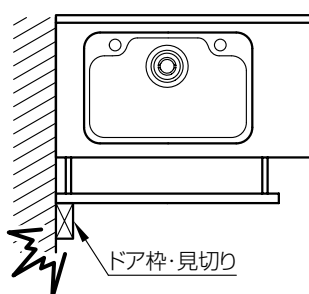
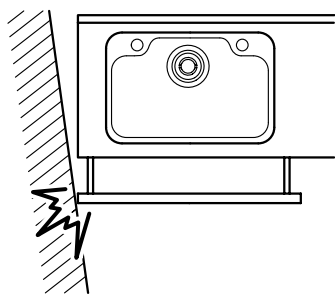
施工図面を基に、次の事項をしっかりと確認してください。

確認によって補充工事が必要なときは、キッチンの取り付けに入る前に工事を依頼してください。

【設置部の確認と注意点】

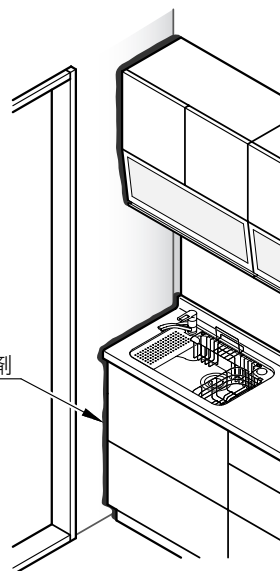
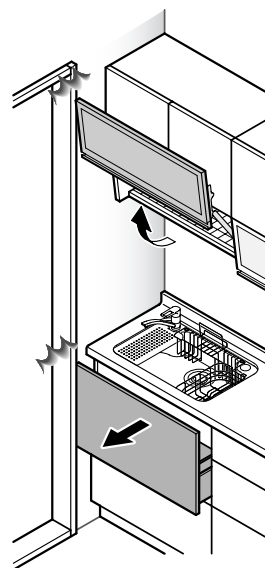
キッチンクロゼットタイプのシンクキャビネットなどの引き出し式キャビネットやはね上げ式の扉付キャビネット・食器洗い乾燥機の場合、ドア枠などの突起物に引き出しや扉が干渉しないことを確認してください。

また、側面に接する壁の直角が出ていない場合に引き出しや扉が壁面に干渉することがありますので注意してください。

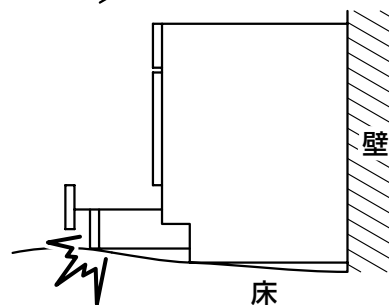


干渉する場合は、壁から離して設置する。

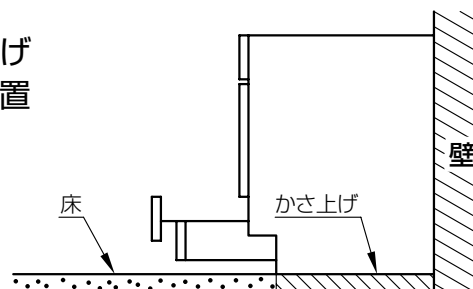
この場合、すき間にはシリコンシール剤を充填してください。



キッチンクロゼット（引き出し）が床に近い位置にあるため、キッチンクロゼットタイプのキャビネットを設置する際は床の不陸に十分注意してください。このときキッチンクロゼットをいっぱい引き出して確認してください。



キッチンクロゼットタイプのキャビネット設置後に床仕上げを行う場合、床材の厚み分キャビネットをかさ上げして設置してください。



1. 下準備と確認 (続き) ※別紙施工図を基に木さん・給排水位置および電源・コンセント位置を確認してください。

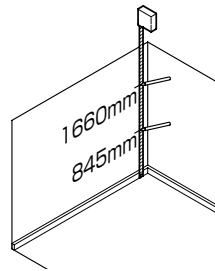
床・壁面・天井の直角と水平・垂直を確認してください。

- 水平・垂直基準の精度が出ていないと、最終仕上がりが悪くなり安全性にも影響します。正確に基準線を設定してください。

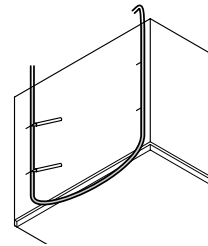
① 水平基準線の設定

水盛り管・水準器などを用いて、各壁面にウォールキャビネットの下端面、フロアキャビネットの上面の基準点を2～3カ所取り、各基準点間に墨壺を用いて水平基準線を引いてください。

※床の一番高い所を基準としてください。



レイアウト図を参考に床面からキャビネットの下端の基準寸法を出す。

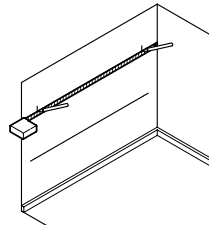


水盛り管・水準器を用いて基準点を出す。

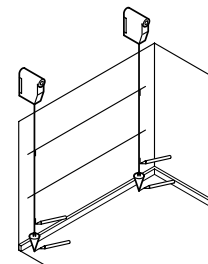
※上記基準寸法はカウンター高さ860およびミドルウォールの場合。

② 垂直基準線の設定

下げ振りをを用いて壁面の角部と、取り付けキャビネット左右端の上下に基準点を取り、基準点間に墨壺を用いて水平基準線を引いてください。

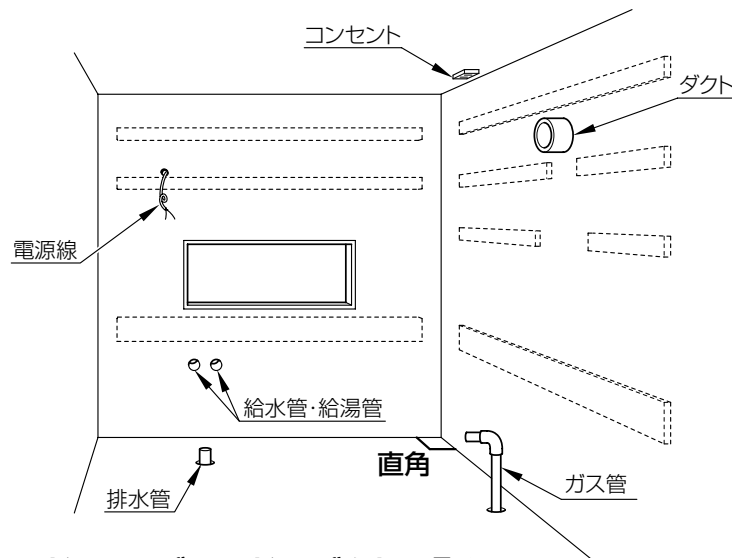


レイアウト図を参考に角部からキャビネットの左右の基準寸法を出す。



下げ振りをを用いて壁・床面への基準点を出す。

- 施工図通りに下地・木さん・給水／排水管・コンセント・電源線・ダクトなどがあるか確認してください。

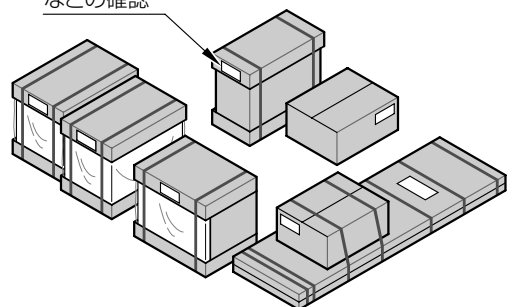


- 調理機器・レンジフード・レンジフード用ダクトは取り付け面の不燃指定や不燃物との離隔距離が火災予防条例で定められています。

※詳しくは所轄の消防署での確認となります。

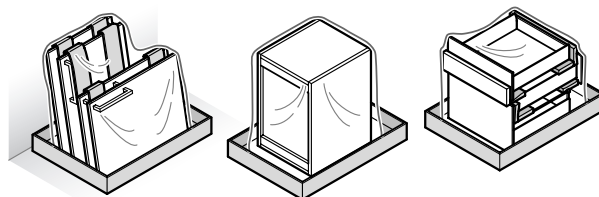
- 荷受した商品は送り状を元に品番・数量をチェックしてください。
- 開封前は包装材など外観に破損がないか確認してください。
- 開封後は商品に傷・破損がないか確認してください。

商品名・機種などの確認

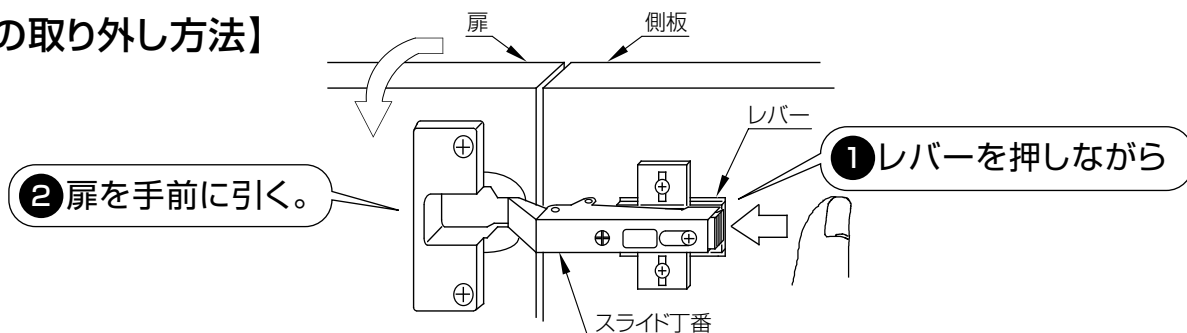


2.扉・引き出しの取り外し

扉および引き出しを傷つけないように、開梱後すぐに取り外し、(P.6)【扉・引き出し・キャビネットの養生方法】の要領で1カ所にまとめて保管してください。



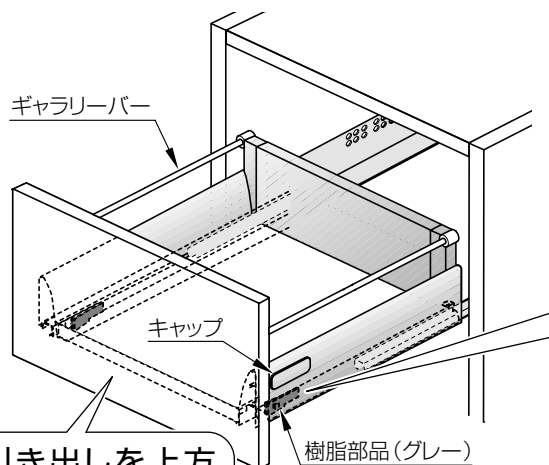
【扉の取り外し方法】



【引き出しの取り外し方法】

ヘティヒ社製の引き出しの場合

ヘティヒ社製の引き出しには側面に右図キャップが付いています。

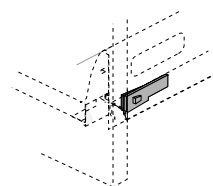


② 引き出しを上方
向に持ち上げる。

⚠ 注意

❌ ガラリバー部分を持たない
ガラリバーが外れて引き出しが落下しけがをする
おそれがあります。

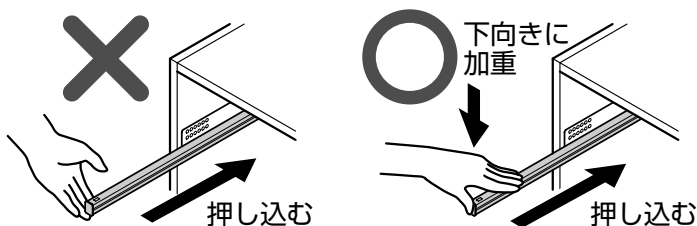
① 引き出し底板の両端に
ある樹脂部品(グレー)
を内側に押し込みながら



※ 無理に外すと作動不良や破損のおそれがあります。

お願い

引き出しを取り外した後にレールを収める時は、レールの先を下向きに加重しながら押し込んでください。
そのまま押し込むと、作動不良や破損の原因となります。



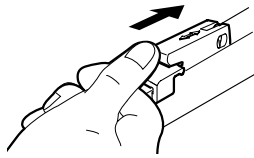
2.扉・引き出しの取り外し(続き)

【引き出しの取り外し方法】

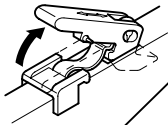
ヘティヒ社製以外の奥行き(D285)の引き出しの場合

間口600以上の場合は引き出し底板の裏面にアングルがついています。

- ① 引き出し両側にある
ストッパーを押す。

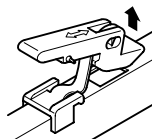


- ② ストッパーを起こす。



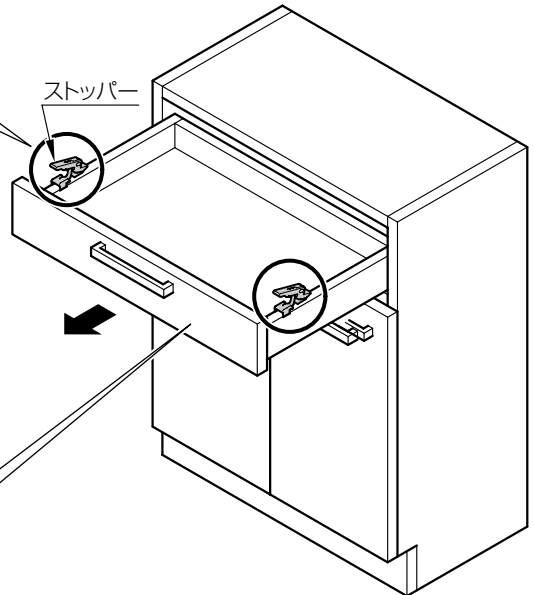
※ 起こしすぎるとストッパーが
切れるおそれがあります。

- ③ ストッパーを抜く。



※ ねじるとストッパーが切
れるおそれがあります。

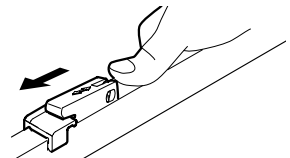
- ④ 引き出しを手前に引いて取り外す。



⚠ 注意

無理な力を加えない

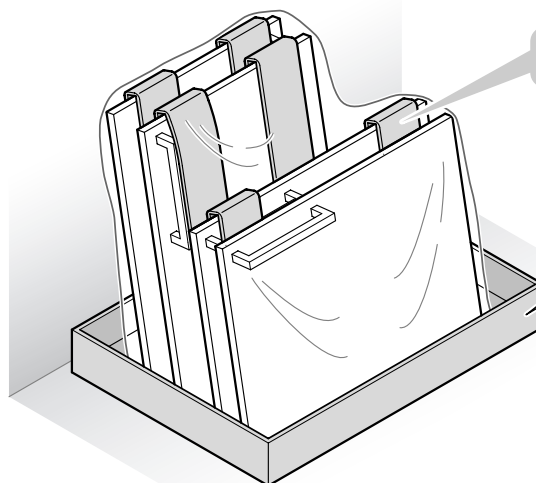
ストッパーの破損および引き出しの落下によるけがの原因となります。



【扉・引き出し・キャビネットの養生方法】

〈扉の場合〉

立掛けて保管するときは、必ず取っ手を上にしてください。



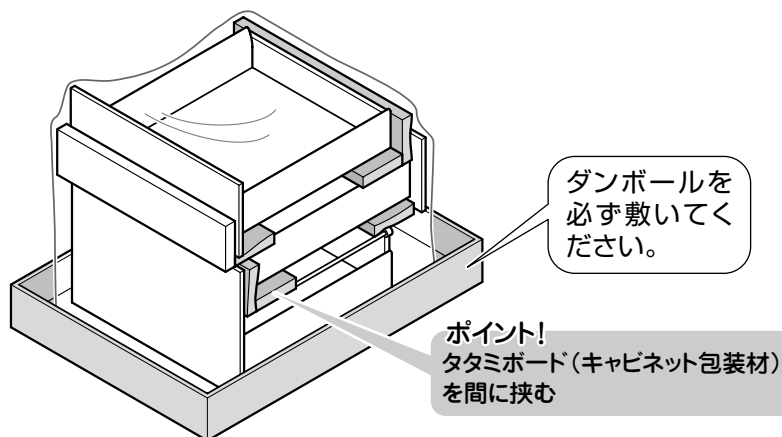
ポイント!
扉と扉の間にダンボールを挟む

ダンボールを
必ず敷いてく
ださい。

2.扉・引き出しの取り外し(続き)

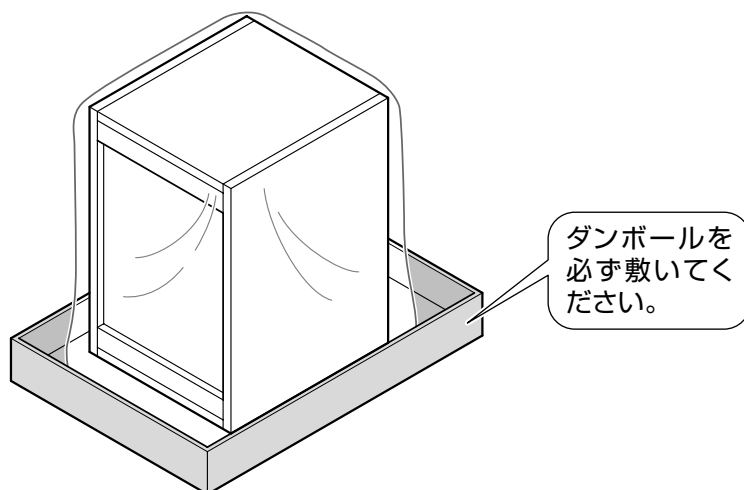
〈引き出しの場合〉

積重ねて保管するときは、互い違いにしてください。



〈キャビネットの場合〉

ウォールキャビネットの底面を床に直接置かないでください。



3 キッチンパネルの取り付け

キッチンパネルがある場合は、キャビネットの取り付け前にキッチンパネルを取り付けてください。
取り付け方法はキッチンパネル用接着キットに付属の組立・設置説明書を参考にしてください。

4 ウォール部の取り付け

1. フードの取り付け

⚠ 注意

❗ 機器に付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取り付け方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

2. ウォールキャビネットの取り付け

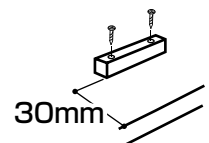
キャビネット下端墨に合わせて、次の要領にて取り付けてください。

〈安心ロック付きキャビネット〉

付属の組立・設置説明書を参考にして取り付けてください。

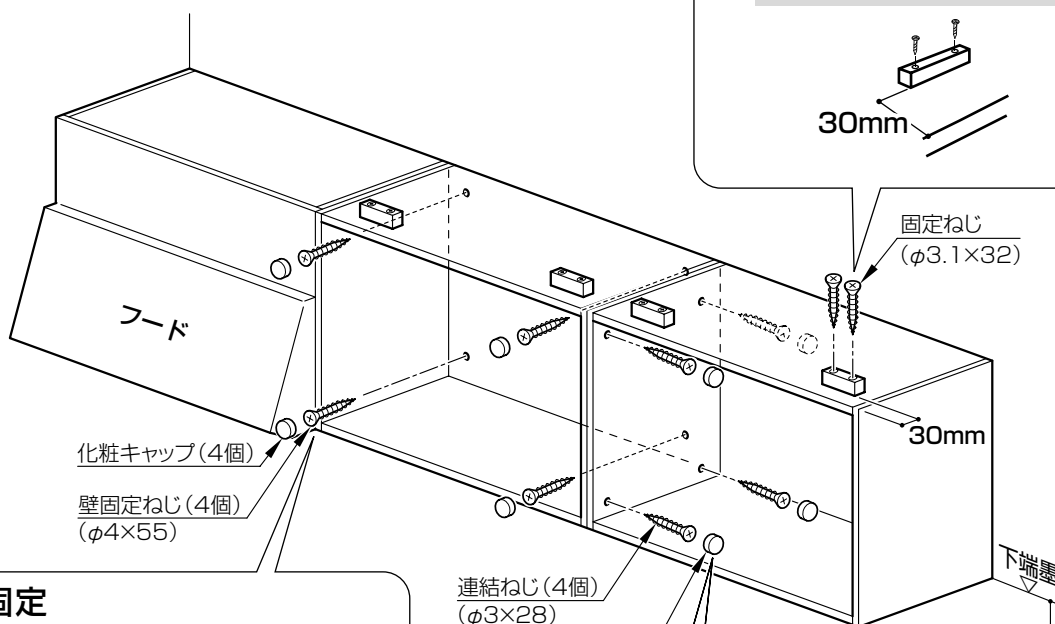
① 天井フィラー受け材の取り付け (受け材および取付ねじは天井 フィラーに付属)

※キャビネット壁固定前に取り付けてください。



固定ねじ
($\phi 3.1 \times 32$)

30mm

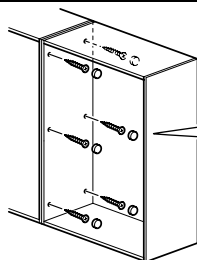
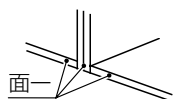


② 壁固定

後横さんの下穴に合わせて裏板に下穴を開けてから壁固定する。

③ 連結

隣接するキャビネットの底面、前面を合わせ、連結する。



背の高いキャビネットの連結は上・中・下の3カ所を固定する。

1660mm

カウンター高さ860mm
ミドルウォール時
※取っ手レス仕様の場合は
1680mm (P.9参照)

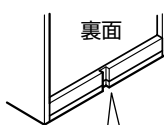
スリムライトなどの照明を底面に取り付ける場合は、切り欠きを設けてください。

照明内蔵タイプ



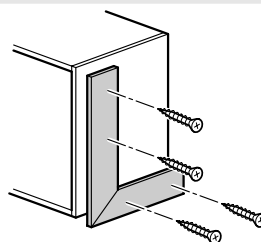
配線用の穴加工をする。

標準タイプ・不燃タイプ



切り欠き加工をする。

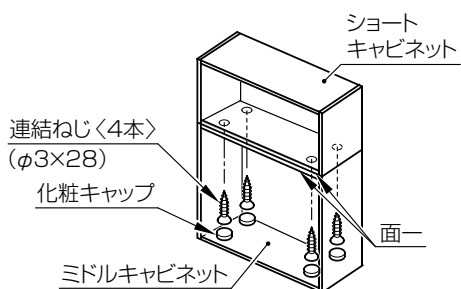
エンドスペーサーがある場合は必ずキャビネット
取り付け前に取り付けてください。



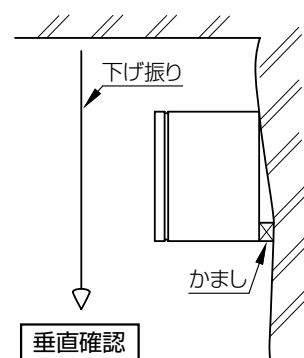
4) ウォール部の取り付け

2.ウォールキャビネットの取り付け(続き)

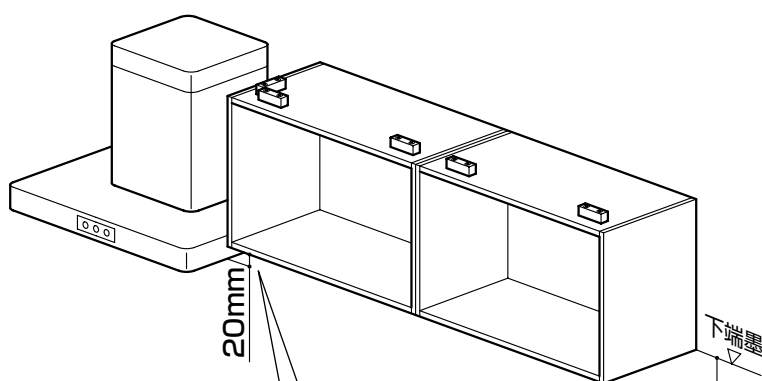
上下のキャビネットの連結



ウォールキャビネットを取り付ける壁面に凹凸がある場合は扉に段違いが生じますので、下図のように下げ振りなどで垂直確認を行い、かまし(現場調達)などで調整を行ってください。

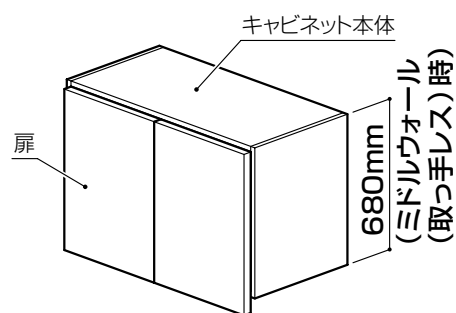


3.ウォールキャビネットの固定【取っ手レスウォールの場合】



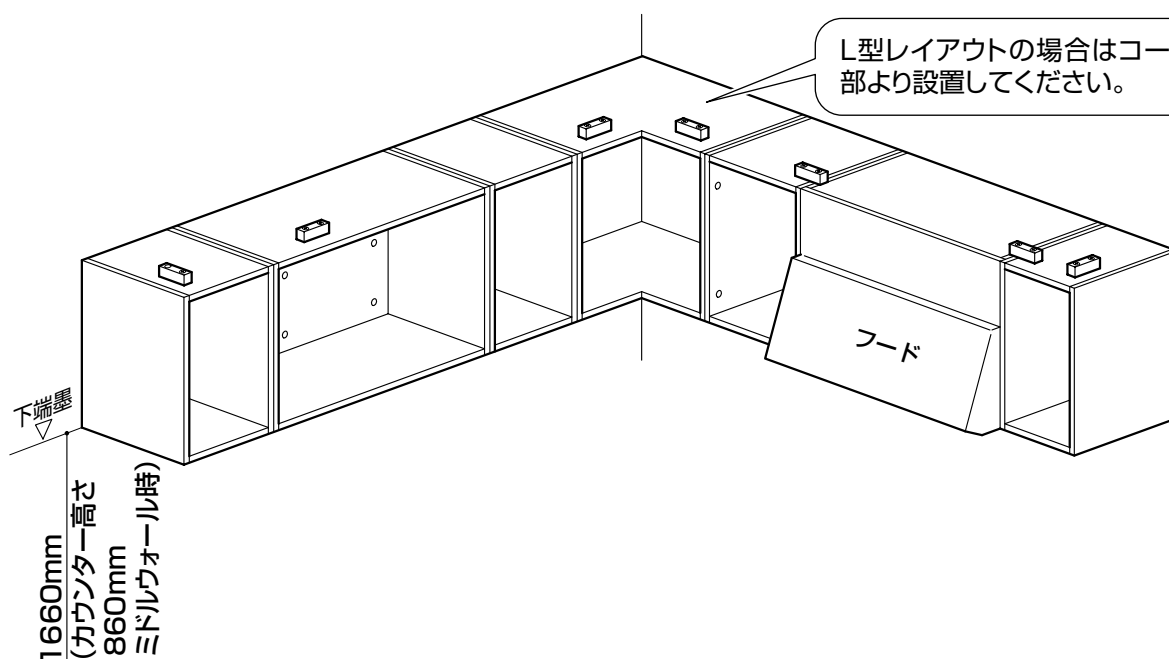
取っ手レスウォールキャビネットの場合、フード下端より20mm上の位置に取り付けてください。

1680mm
(カウンター高さ
860mm
ミドルウォール
(取っ手レス)時)



扉下端はキャビネット本体の底板よりも飛び出ます。

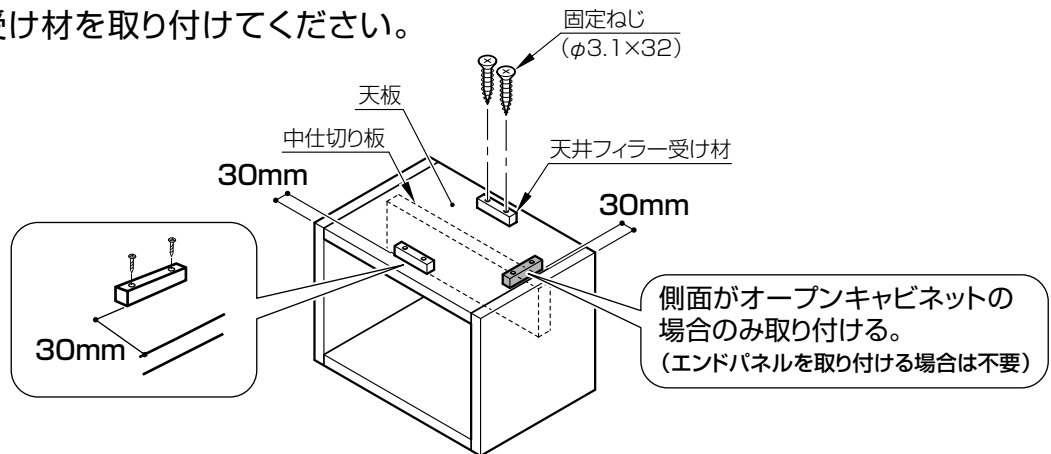
4.ウォールキャビネットの固定【L型レイアウトの場合】



5. 天吊りキャビネットの取り付け

① 前準備

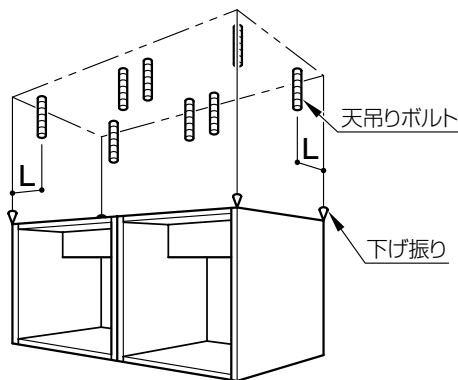
天井フィラー受け材を取り付けてください。



② 天吊りキャビネットの位置決め

下げ振りでキャビネットの位置を決めてください。

キャビネットの前後左右からのボルト位置 (L) を測定してください。



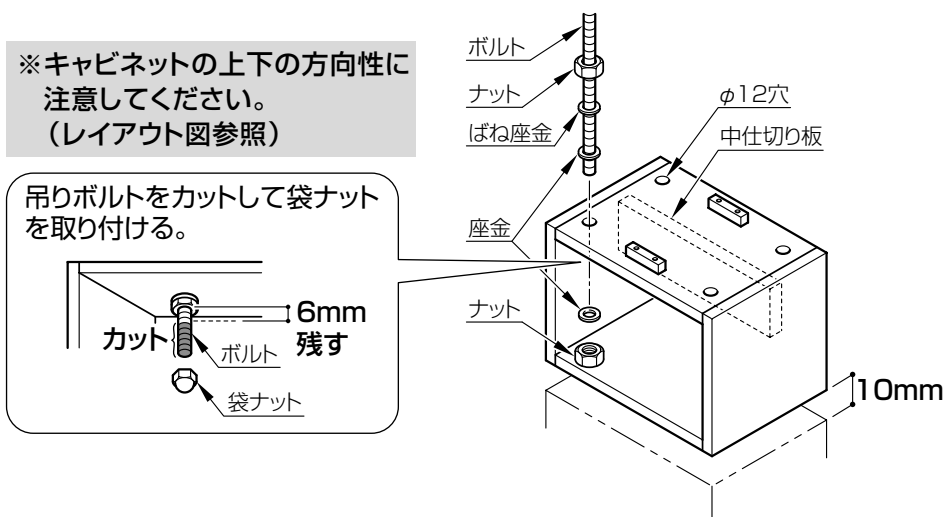
③ 天吊り仕様キャビネットの取り付け

②で測定したボルト位置 (L) 寸法に合わせた天吊りボルト用の穴をあけてください。
それぞれのキャビネットを下図のように吊ってください。

※標準取付高さより約10mm程度高めに吊っておくと中間のキャビネットの取り付けが簡単です。
また、袋ナットは取り付け後に取り付けてください。

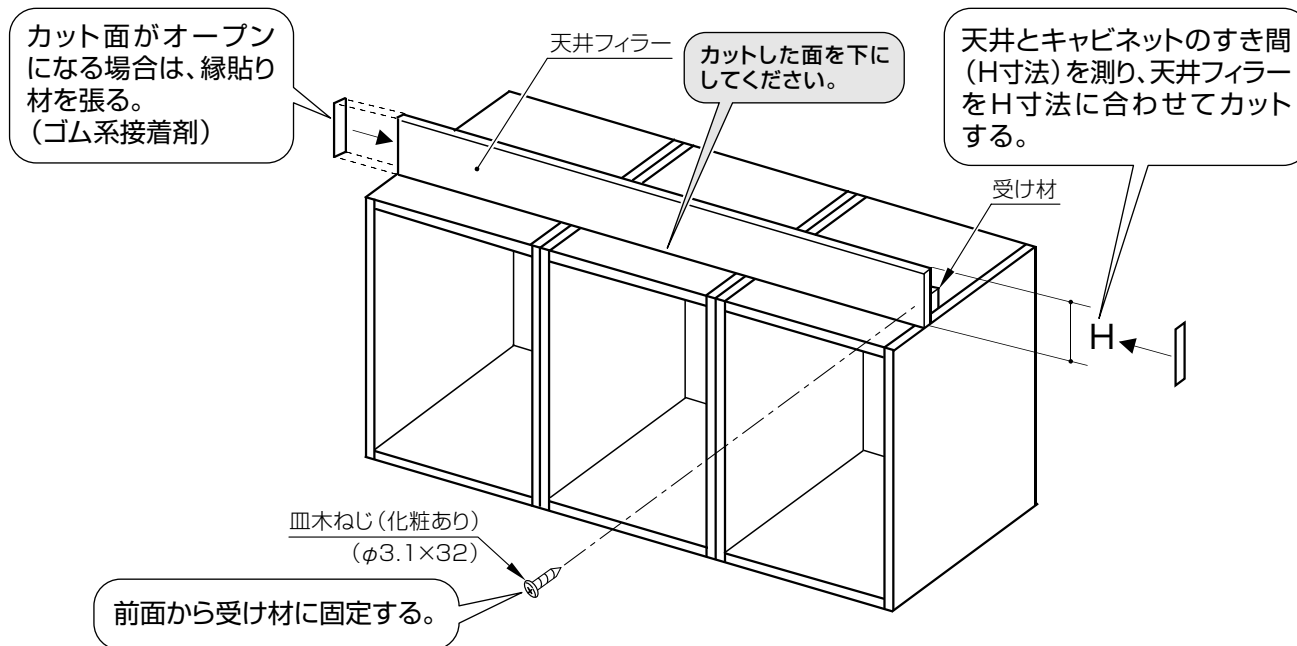
※キャビネットの上下の方向性に
注意してください。
(レイアウト図参照)

吊りボルトをカットして袋ナット
を取り付ける。

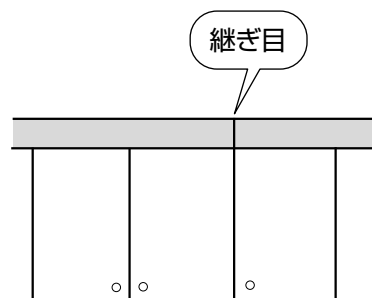
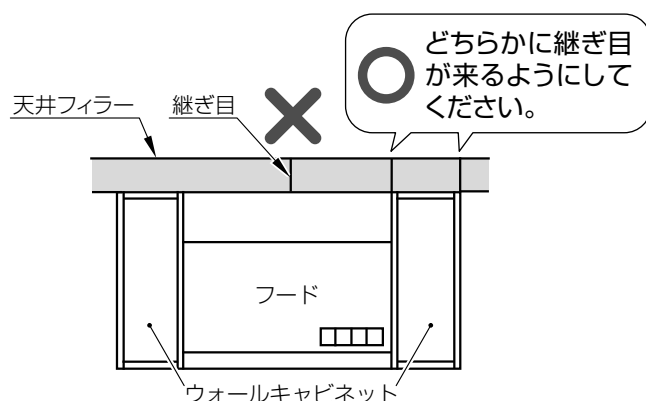


5 天井フィラーの取り付け

1. カットと取り付け



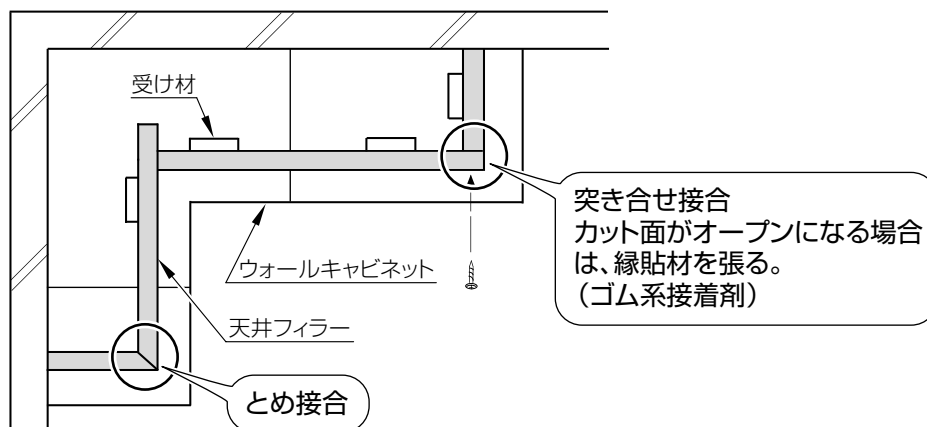
※フードには、天井フィラー受け材が取り付けられないため、天井フィラーの継ぎ目がフードの上に来ないようにしてください。



※天井フィラーの継ぎ目はウォールの扉に合わせると、きれいに仕上がります。

2. コーナー部および端面部の処理

端面部は下図の突き合わせ接合または、とめ接合で仕上げてください。



3.フードのみ（ウォールキャビネットなし）の場合

①角材の取り付け

天井面に角材（垂木材、現場調達）を取り付けてください。

※野縁にねじ止め。

必ずフードの取付前に取り付けが必要です。

②天井フィラーの取り付け

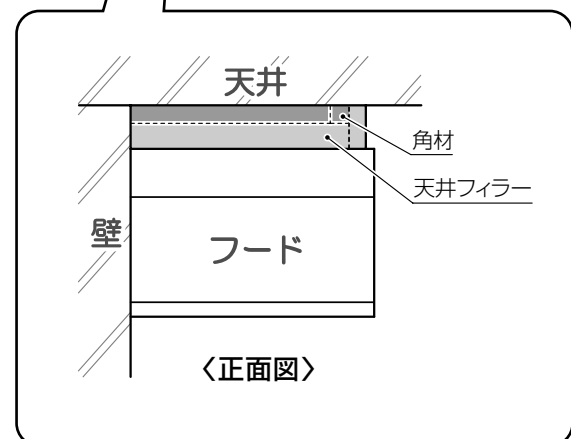
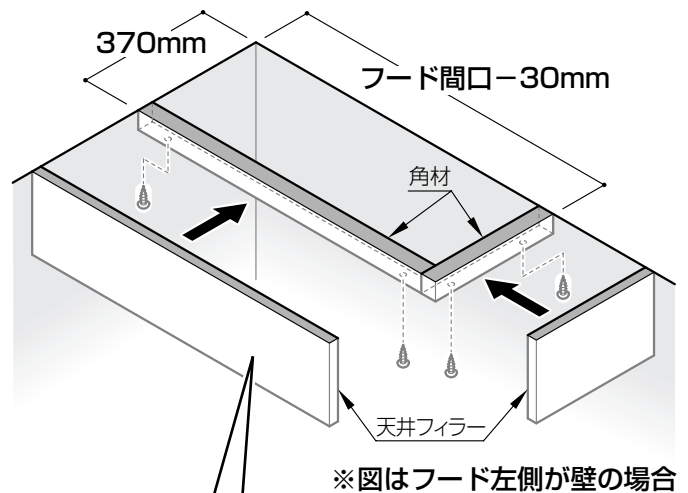
天井フィラーを両面テープと接着剤（現場調達）で取り付けてください。

※キッチンパネル用の両面テープと接着剤でも可能です。

⚠ 注意



天井面への角材取り付けおよび角材への天井フィラー取り付けは確実に取り付ける
確実な取り付けを誤ると天井フィラーが落下して
けがをするおそれがあります。



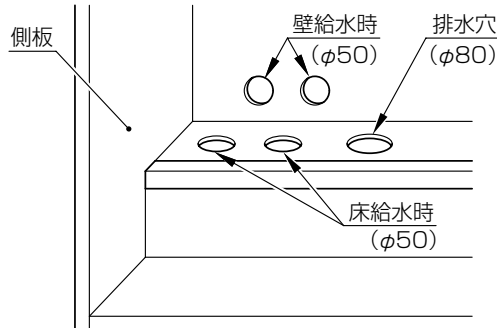
6 フロアキャビネットの取り付け

1. 配管用穴あけおよび側板切り欠き

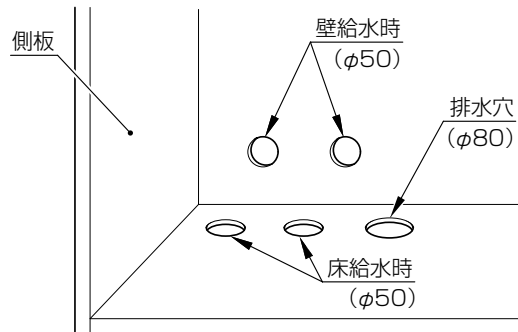
① 穴加工

位置は現物合わせをして決めてください。

〈配管スペースありシンク用キャビネットの場合〉

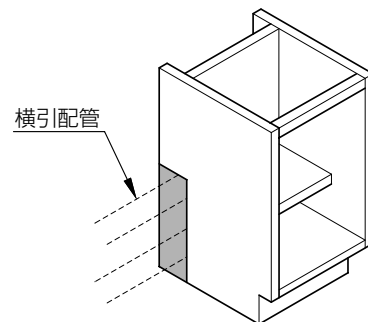


〈配管スペースなしシンク用キャビネットの場合〉



② 側板の切り欠き

横引配管の場合は、配管が通るキャビネットの側板を切り欠いてください。



③ 配管用穴加工

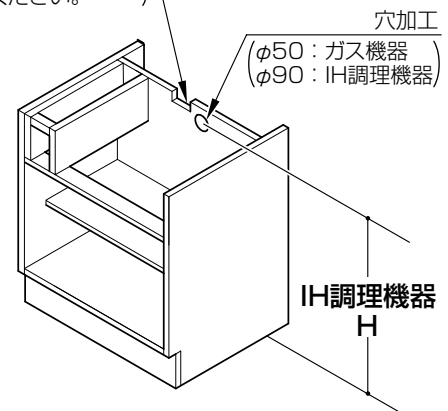
コンロ用キャビネットにガス配管用・電気配線の穴加工をしてください。

※ガス配管については、施工図および現物を確認して穴加工をしてください。

〈IH調理機器の穴加工位置〉

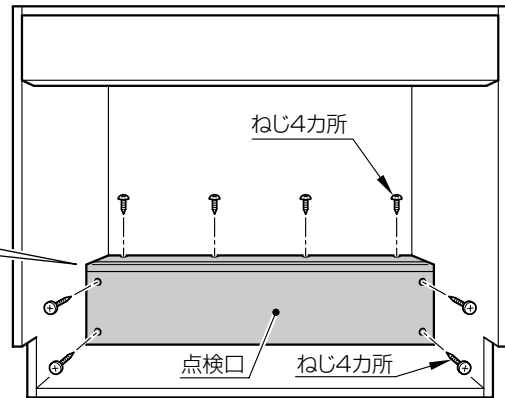
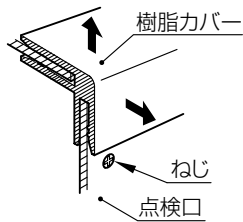
	H寸法
カウンター高さ 810	500
カウンター高さ 860	550

IH調理機器の場合切欠加工が必要となります。
(機器付属の説明書を参照ください。)



2. 点検口類の取り外し 図の要領で飾板、点検口を取り外してください。

ねじと樹脂カバーを外し、
点検口の着脱を行う。



3. フロアキャビネットの取り付け

〈L型レイアウトの場合〉

コーナーキャビネットから設置します。

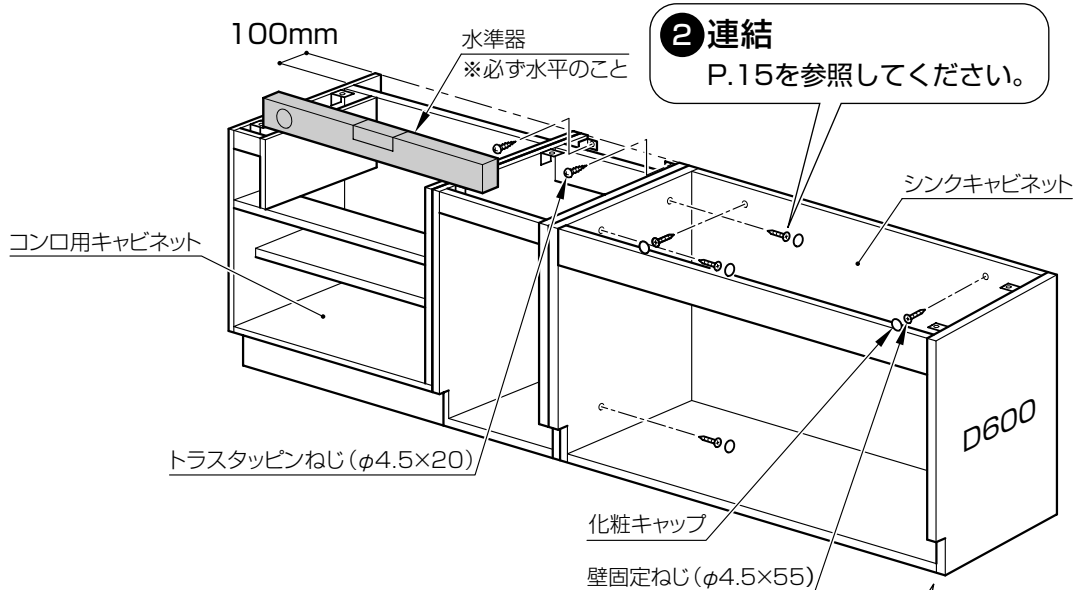
〈コンロ用キャビネットの取り付け方法〉

コンロ用キャビネットに付属の組立・設置説明書を参照してください。

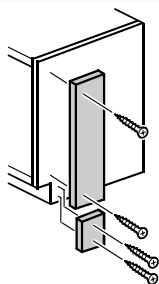
〈スペーサー付きキャビネットや、エンドスペーサーを使用する場合〉

キャビネットを設置する前に取り付けてください。

(取り付け方法はキャビネットまたはエンドスペーサーに付属の組立・設置説明書を参照してください。)

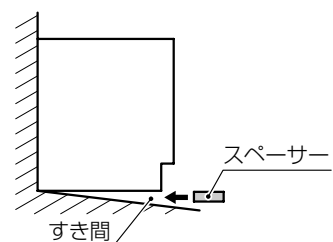


エンドスペーサーは必ずキャビネット
設置前に取り付けてください。



① 水平出し

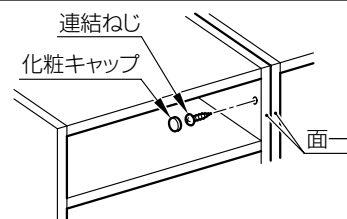
床の水平が出ていない場合は床とフロア
キャビネットの間に不陸調整用スペーサー
を入れてレベル調整する。



3.フロアキャビネットの取り付け (続き)

② キャビネット同士の連結

キャビネット前面および上面を合わせ、キャビネットに付属している連結ねじ (φ3×28) で連結してください。



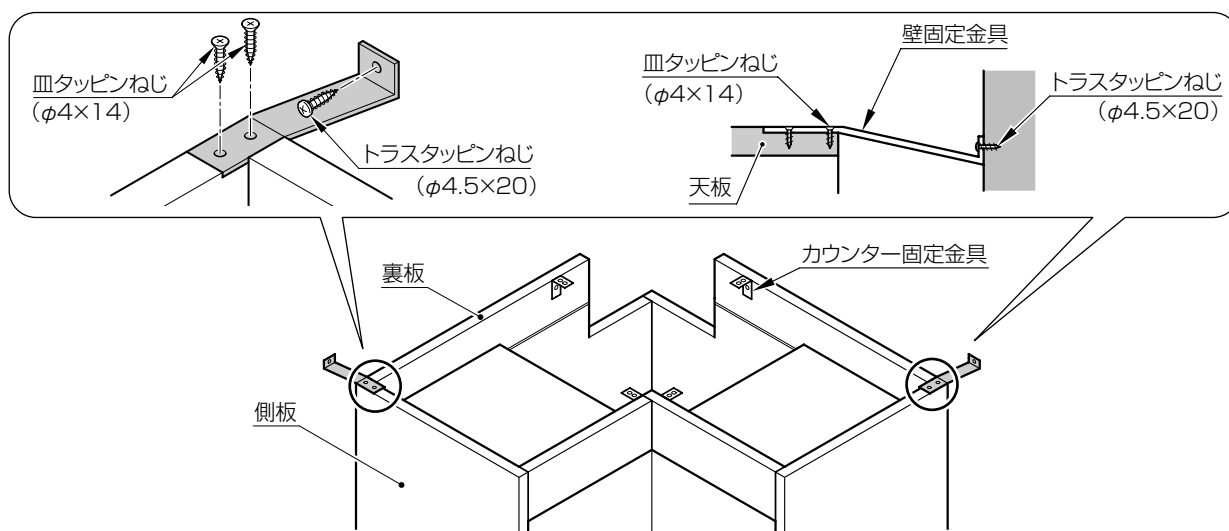
③ 壁固定

シンクキャビネットの場合

横さんのある部分の裏板側から下穴を開け、壁固定ねじ (φ4.5×55) で固定してください。

L型コーナーキャビネットの場合

下図のように、側板に壁固定金具を取り付ける。この時、側板と金具の上面が面一になるよう現物合わせで切り欠いてください。取付ねじは下図の通りです。



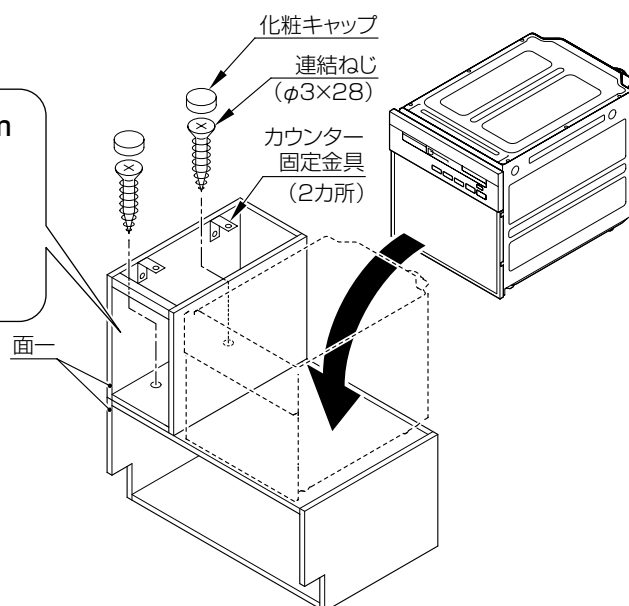
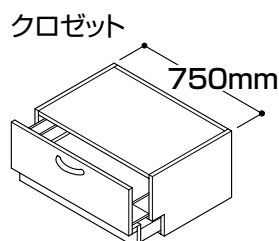
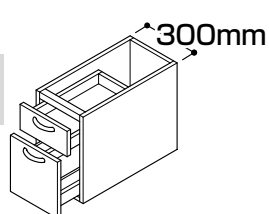
その他のキャビネットの場合

側板に取り付けられたアングルをトラスタッピンねじ (φ4.5×20) で壁固定してください。

大容量タイプの食器洗い乾燥機用キャビネットの場合

2段引き出し

※取り付け位置は、レイアウト図をご確認ください。



7 キッチンカウンターの取り付け

1. キッチンカウンターの固定

- ① キッチンカウンターをフロアキャビネットにのせ、取り付け位置を確認後、フロアキャビネットの内側からトラスタッピンねじ (φ4×10) で固定してください。

指定以上の長いねじを使用するとカウンターに傷、ひび割れが生じます。

バックガードプレート
(人工大理石の場合のみ)

端面がオープンですき間が目立つ場合はアングルを内側に付け替えて引きつけて固定する。

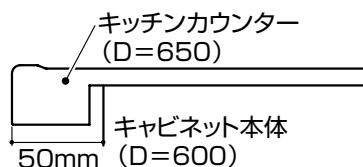
ビルトイン機器がレイアウトされた場合、カウンター取り付け後にビルトイン機器を取り付ける。

シンクキャビネットとカウンターの固定はシンクキャビネットがレイアウト端に取り付けられる場合にその端側のみ行う。
それ以外の場合は、カウンターとの固定は不要。

トラスタッピンねじ
(φ4×10)

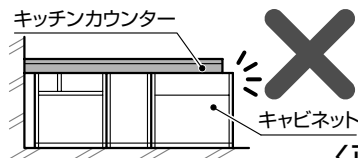
- ② カウンター固定は各キャビネットの両側板に取り付けられているアングルを使用します。
(W450、W600食器洗い乾燥機用キャビネットは、付属のアングルをキャビネット側板に取り付けてください。)

※キッチンカウンターとキャビネット本体の位置関係は下図を参考にしてください。



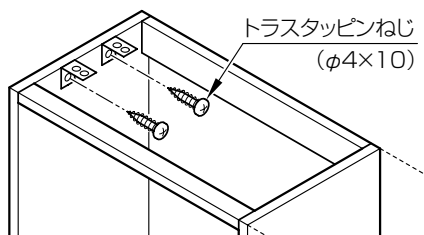
〈断面図〉

※キャビネットがキッチンカウンターより飛び出さないこと。



〈正面図〉

W450、W600食器洗い乾燥機用キャビネットがカウンター端に来る場合はアングルを端側に取り付けてください。



7) キッチンカウンターの取り付け

2.L型コーナーレイアウトの場合のコーナー継ぎ

カウンターに付属されている組立・設置説明書を参考にしてください。

3.スクリーンの取り付け

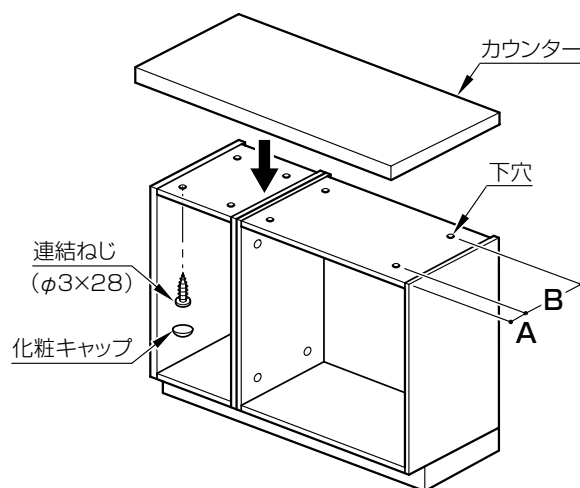
カウンター付属のスクリーンに付属の組立・設置説明書に従い、取り付けてください。

4.周辺カウンター設置の場合

キャビネット天板から連結ねじで固定してください。

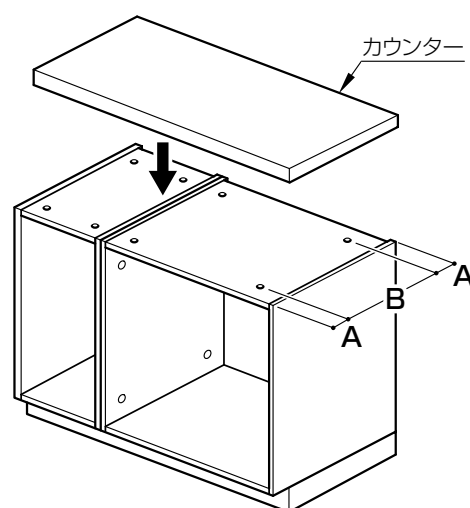
(キャビネット天板に下穴がない場合は、カウンターの木さん位置に合わせて天板に下穴を開けてから行ってください。)

【奥行き310、450カウンターの場合】



	A寸法	B寸法
奥行き310 カウンター用	75mm	140mm
奥行き450 カウンター用	90mm	220mm

【奥行き500カウンターの場合】



	A寸法	B寸法
奥行き500 カウンター用	90mm	220mm

8 排水金具の取り付け

排水金具に付属の組立・設置説明書に従って取り付けてください。

⚠ 注意



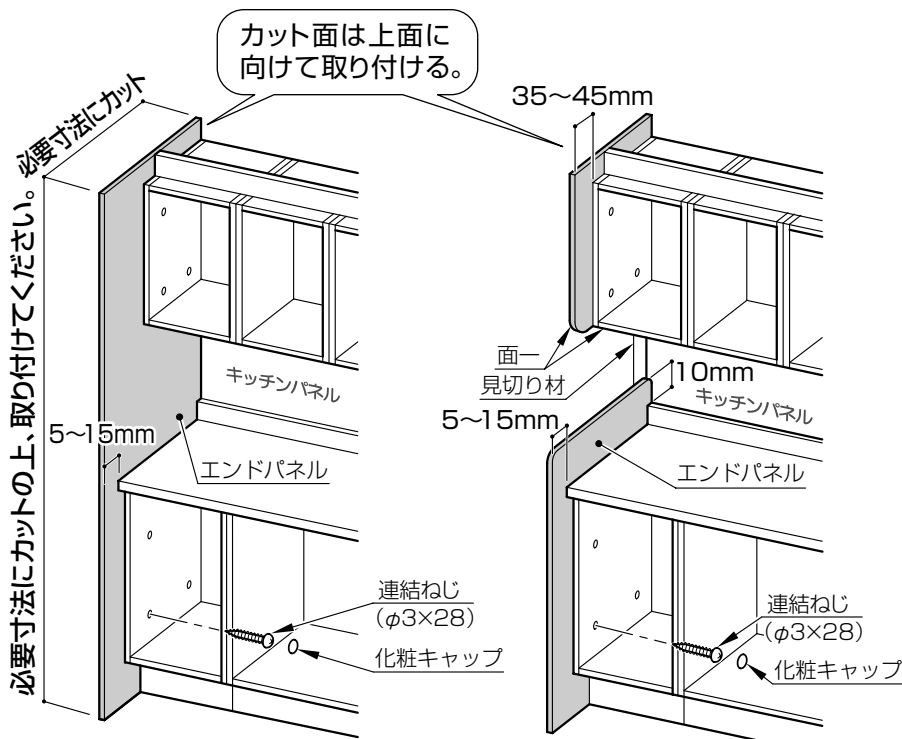
排水金具に付属の組立・設置説明書の注意事項を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取り付け方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

9 エンドパネルの取り付け

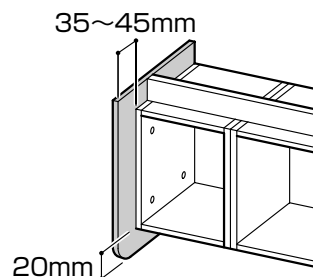
- ① 下図取り合いに合わせ、エンドパネルをカットしてください。
- ② 取り付けはキャビネット内側より連結ねじで止めてください。
- ③ エンドパネルとカウンターや壁面とのすき間をシリコンシーリング剤でコーキングしてください。
(「17.コーキング処理」参照)

〈トールタイプの場合〉

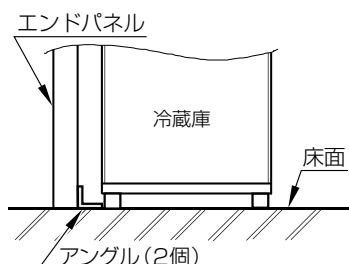
〈セパレートタイプの場合〉 〈取っ手レスウォールの場合〉



キッチンパネルと見切り材の取り合いはキッチンパネル用接着キットに付属の組立・設置説明書に従って取り付けてください。



冷蔵庫の横にエンドパネルを設置する場合、パネル下部を付属のアングル(2個)にて固定する。



※床暖房設備を施してある場合または、床がRCの場合は、木片を接着剤で床に固定してそれにアングルを取り付けてください。

10 包丁差し

引き出しオールスライドタイプのシンクキャビネットに付属の包丁差しは取り外して左右を変えることができます。また、包丁差しの底板も外してお手入れすることができます。

※通常の作業では取り外す必要はありません。

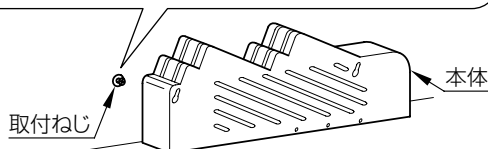
【本体の取り外し方法】

本体を斜め上方にスライドして取り外す。

【向きを変える場合】

包丁差しを裏返して取り付け。

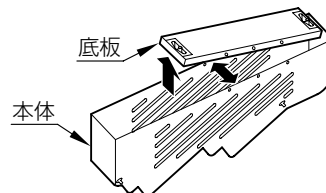
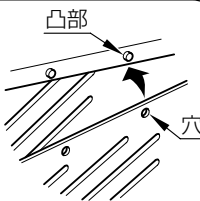
斜め上方にスライドさせる



【底板の取り外し方法】

本体を軽く左右に広げながら、底板の6カ所の凸部を本体の穴から外して、底板を取り外す。

※組み立ての際、底板の表裏に注意してください。



11 扉と引き出しの取り付けと調整

⚠ 警告



取り外した扉および引き出しを取り付けたら、傾き・がたつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する

扉の取り付けに異常があると、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

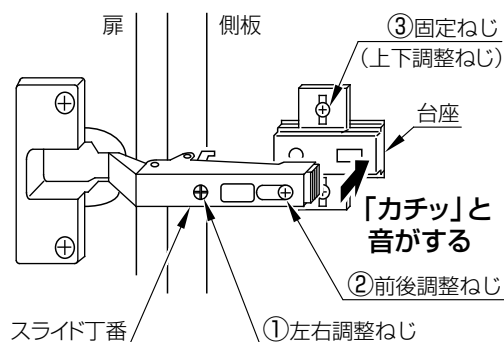
⚠ 注意



扉と引き出しの調整は電動工具を使用しないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う
破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

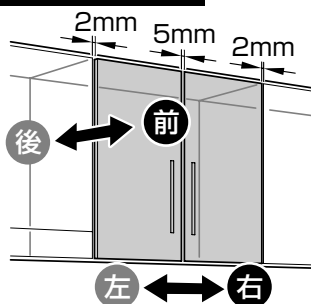
1. 扉の取り付けと調整

丁番を台座に合わせて押し付けてください。



※ねじを締めすぎないようにしてください。
丁番の破損の原因となります。

前後左右の調整



〈左右〉

①の調整ねじを回して調整してください。

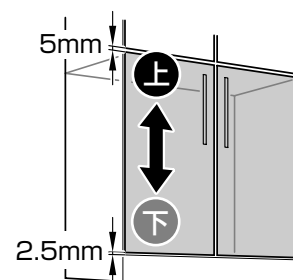
〈前後〉

②の調整ねじを回して調整してください。

上下の調整

〈上下〉

③の固定ねじをゆるめる。両手で支えながら調整し、調整後はねじを締めてください。



2. 引き出し取り付けと前板の調整

⚠ 注意



取り付け後は必ず引き出しを2～3回最後まで押し込み、引き出しを引き出した状態で扉を下に押し

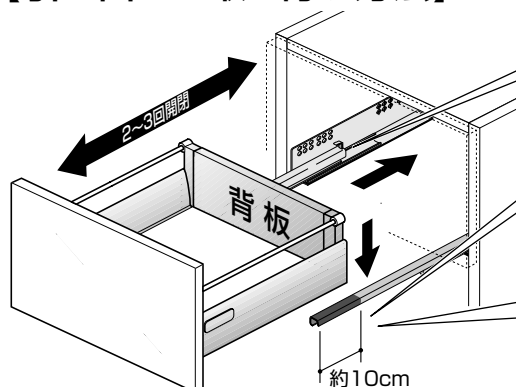
ても引き出しの背板が持ち上がらないことを確認する

正確に取り付けられていないと、使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。

ヘティヒ社製の引き出しの場合

ヘティヒ社製の引き出しには側面に右図キャップが付いています。

【引き出しの取り付け方法】



① キャビネットのレールを完全に引き出した状態にする。

② レールの先端から約10cmの所に引き出しを重ね合わせる。

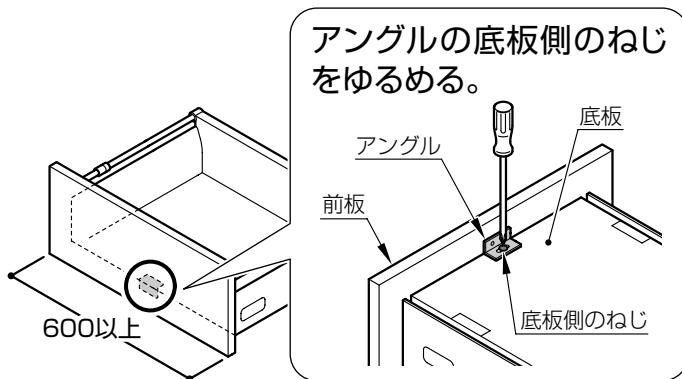
③ そのまま奥まで「カチカチッ」と2回音が出るまで押し込む。

※引き出しがレールに固定されているか、必ず確認してください。

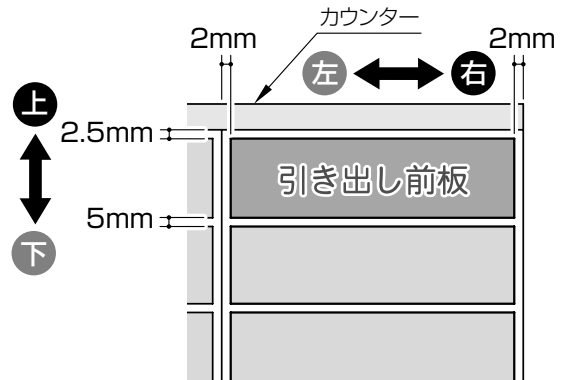
2.引き出し取り付けと前板の調整 (続き)

【上下左右調整】

間口600以上の場合には引き出し底板の裏面にアングルがついています。



調整後は必ず、ねじを締め付けてください。
引き出しの扉と底板の間にすき間が発生、また底板のたわみの原因となります。

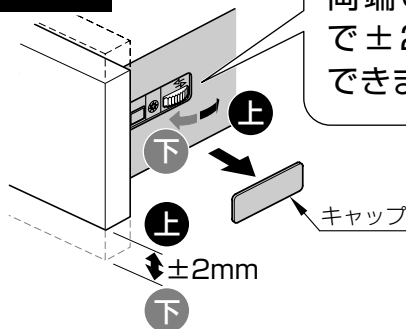


〈すき間適正值〉

左右のすき間 : 2mm
扉と扉のすき間 : 5mm
扉とカウンターのすき間 : 2.5mm

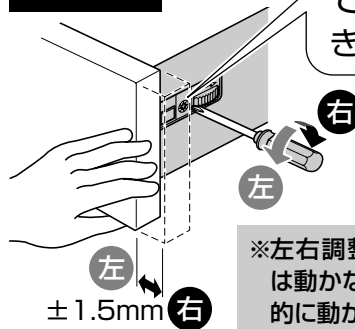
引き出し側面のキャップを外して、調整してください。
前板の調整終了後は必ずキャップを戻してください。

上下調整



両端のダイヤル
で±2mm調整
できます。

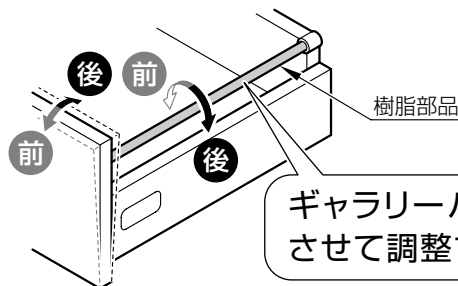
左右調整



引き出し右側のねじ
で±1.5mm調整で
きます。

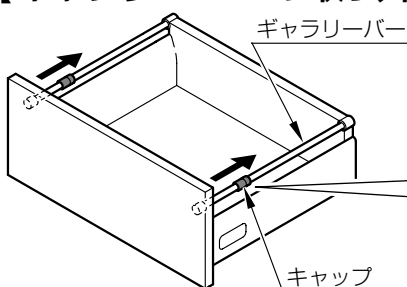
※左右調整はねじを回しただけ
では動かないので、前板を手で補助
的に動かしてください。

【前板の角度調整】

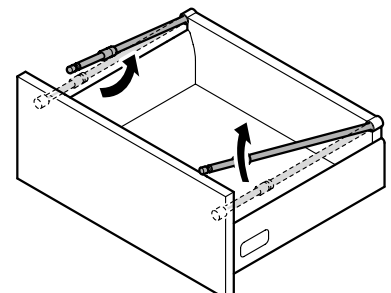
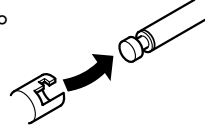


ギャラリーバーを回転
させて調整する。

【ギャラリーバーの取り外し・取り付け】



①必ずキャップをキャビネット
奥方向にスライドさせて取り
外して、ギャラリーバーを取り
外す。

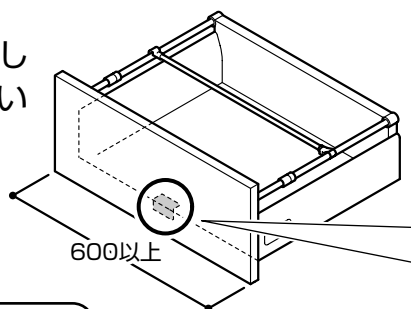


※取り付けは逆の手順で行ってください。

2.引き出し取り付けと前板の調整（続き）

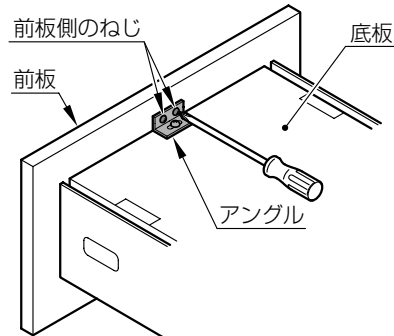
【前板の取り外し・取り付け】

間口600以上の場合は引き出し底板の裏面にアングルがついています。



調整後は必ず、ねじを取り付けてください。
引き出しの扉と底板の間にすき間が発生、
また底板のたわみの原因となります。

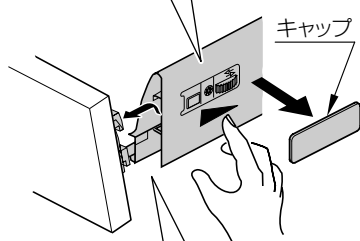
アングルの前板側のねじを外す。



引き出し側面のキャップを外して、調整してください。

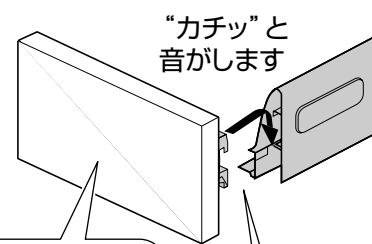
取り外し

① 引き出し側面のキャップを外す。



② 両端の青いボタンを押しながら持ち上げると外れます。

取り付け



① 取り付けは前板を前面からはめ込む。

② 押しつけながら下に移動させて固定する。

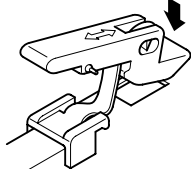
3.引き出しの取り付けと調整

ヘティヒ社製以外の奥行き(D285)の引き出しの場合

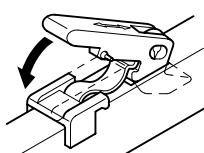
周辺キャビネット（スリムタイプ奥行き285mm）の引き出しはフルスライド式になっています。

【引き出しの取り付け方法】

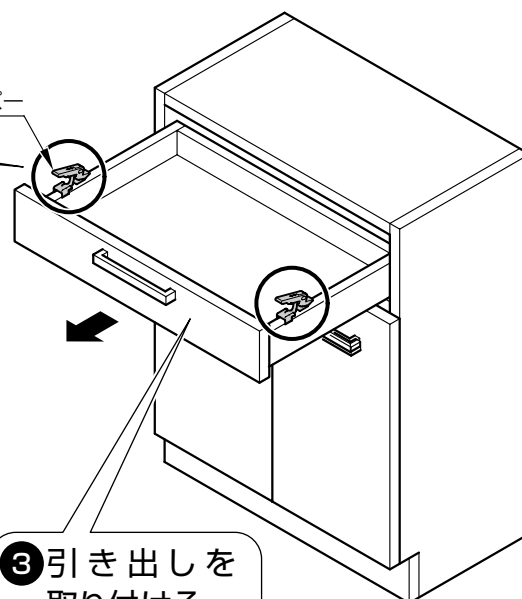
① 引き出し両側にストッパーを差し込む。



② ストッパーを倒す。



ストッパー



③ 引き出しを取り付ける。

⚠ 注意

- ストッパーは確実に取り付けでロックする
- 無理な力を加えない
ストッパーの破損および引き出しの落下によるけがの原因となります。

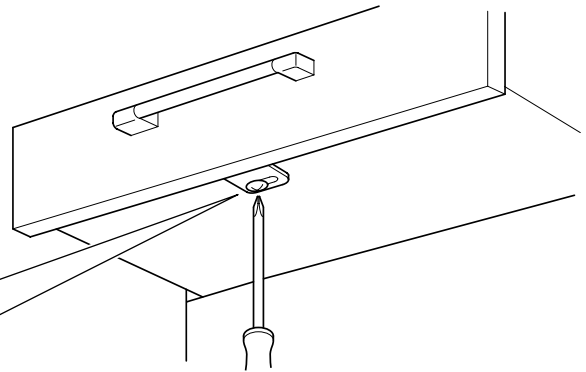
3.引き出しの取り付けと調整 (続き)

【左右調整】

引き出し底板止め金具がついています。

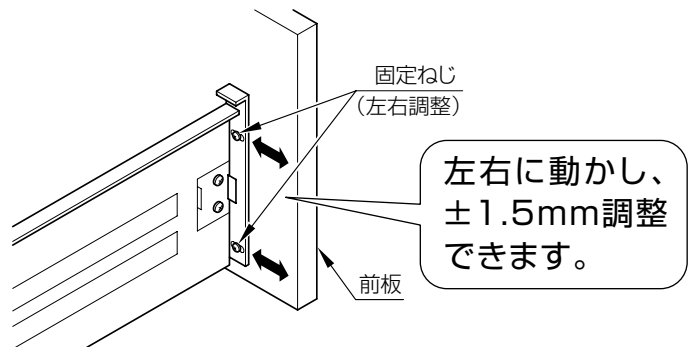
※W=600以上の引き出しのみ

底板止め金具のねじをゆるめる。



固定ねじ (左右各2本) をゆるめて、調整してください。

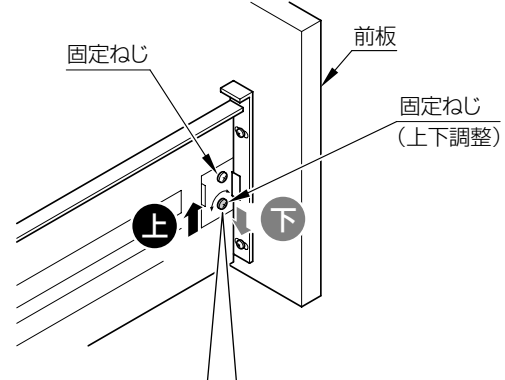
前板の調整が終わったら必ず固定ねじと底板止め金具のねじを確実に締め付ける



【上下調整】

固定ねじをゆるめて、調整してください。

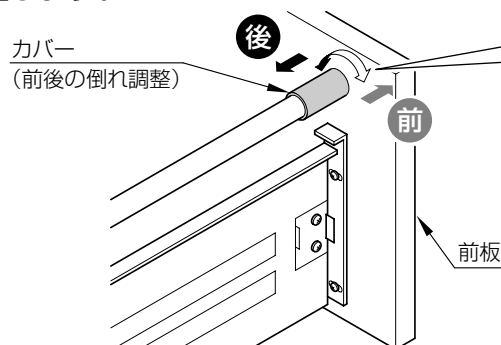
調整後は必ず、固定ねじを締め付ける



調整ねじを右に回すと前板が下がり、左に回すと上に動き±1.8mm調整できます。

【前後の倒れ調整】

カバーを回して調整します。

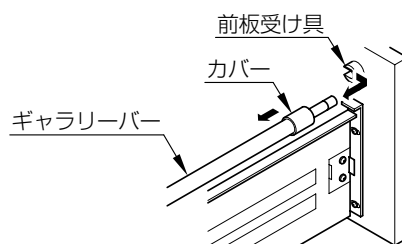


右に回すと前に倒れ
左に回すと後ろに倒れる。

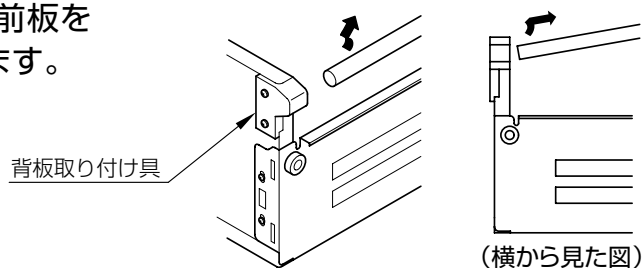
4.引き出し前板の取り外し

※引き出し前板の交換などで引き出し前板を取り外す必要がある場合、下記の手順で取り外してください。

ギャラリーバーのカバーを外し、前板受け具からギャラリーバーを取り外す。

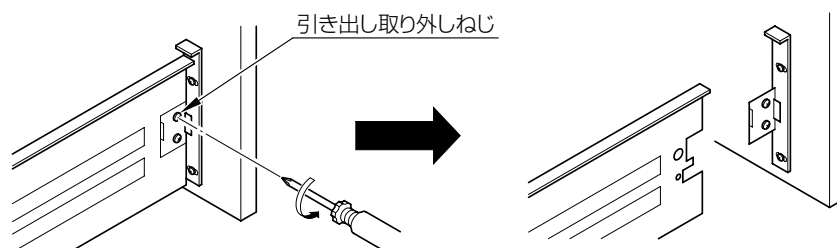


背板取り付け具側は、ギャラリーバーの前板を斜め上に持ち上げながら引っ張り、外します。



引き出し取り外しねじをゆるめ前板を外す。

前板を落とさないように注意する

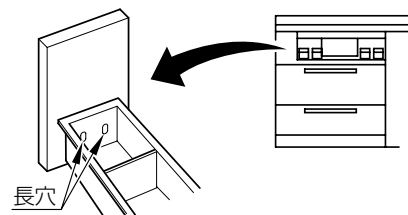


【前板の取り外し】

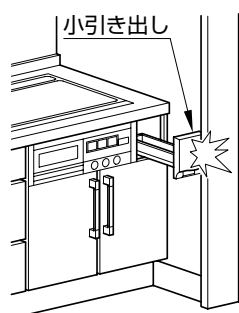
取り付けは取り外しの逆の手順で行います。

5.コンロ用キャビネットの小引き出し前板の調整

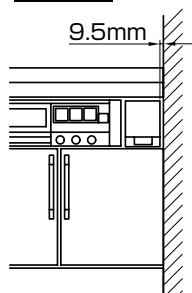
前板を固定しているねじは長穴になっていて、前板の上下調整をすることができます。ねじをゆるめて調整してください。その後、必ずねじを締め直してください。



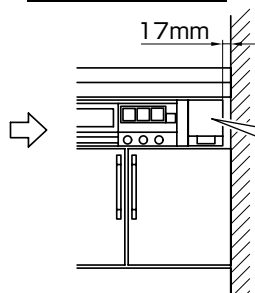
開き扉タイプのコンロ用キャビネットを壁際に設置して、ドア枠などの突起物が小引き出しと干渉する場合、小引き出し前板の取り付け位置を変更してください。



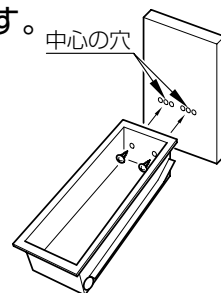
出荷時



取り付け変更後

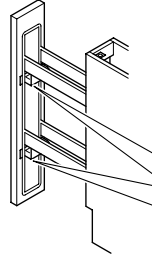
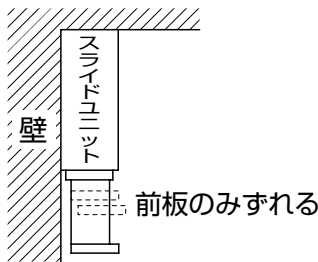


前板を固定しているねじを外し、中心の穴を使用して固定しなおす。中心の穴

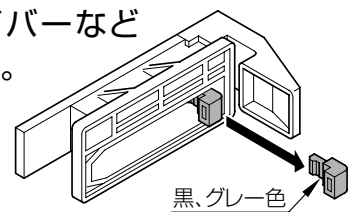


6. 幅150mmスライドユニットの扉調整

壁面、見切り板などに前板がぶつかる場合は、上下のロックを取り外してください。



マイナスドライバーなどでロックを抜く。



12 調理機器の取り付け

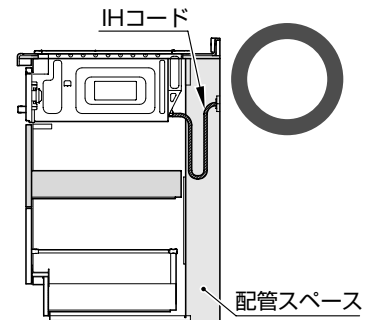
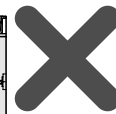
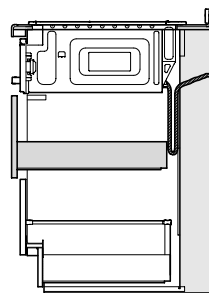
⚠ 注意



機器に付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

お願い

IHコードは配管スペース内に収めてください
引き出し背板と干渉し、引き出しが閉まらなくなります。



配管スペース

13 水栓金具の取り付け

⚠ 注意



水栓金具に付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取り付け方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

14 照明の取り付け

⚠ 注意



機器に付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取り付け方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

15 周辺商品の取り付け

⚠ 注意



おのこのユニットに付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取り付け方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

16 オプションの取り付け

⚠ 注意

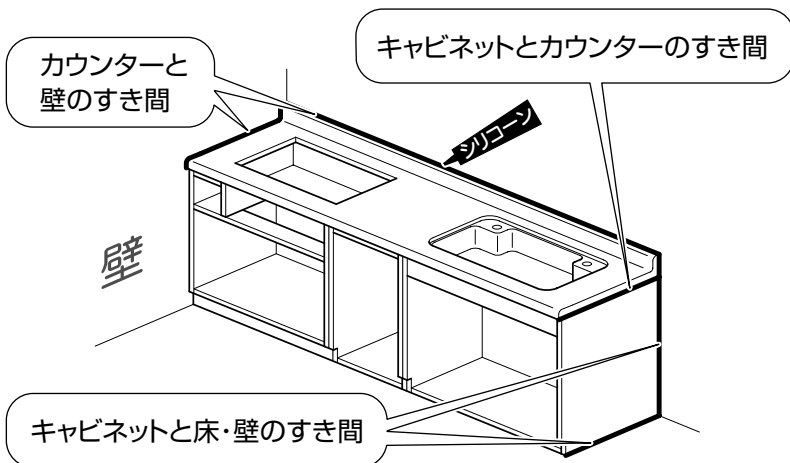


オプションに付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取り付け方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

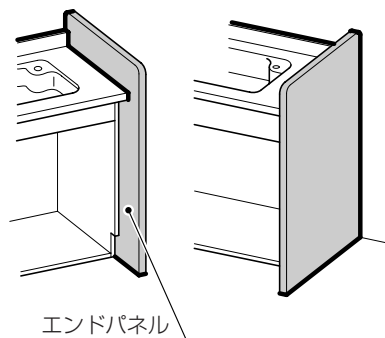
17 壁との処理方法

- カウンターおよびキャビネットなどとキッチンパネル、壁面、エンドパネル、床面などのすき間をシリコンシーล剤でシーลしてください。

※壁面がキッチン取付後仕上げの場合は、材工建築工事となります。



〈エンドパネルの付く場合〉



⚠ 注意



上記で指定した箇所は必ずシリコンシーล剤でシーลする

シーลが不完全な場合、水こぼれによりキッチン部材・床・壁の損傷や劣化の原因になります。

取り付け・仕上げに使われる、溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などに記載の注意表示に従って、正しく使う

誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、キッチン部材・床・壁の損傷や劣化の原因になります。

18 清掃・検査・養生

【清掃】

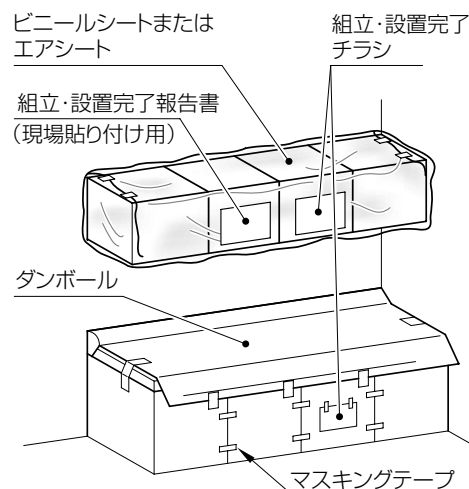
キッチン取り付け完了後、清掃を行ってください。

【検査】

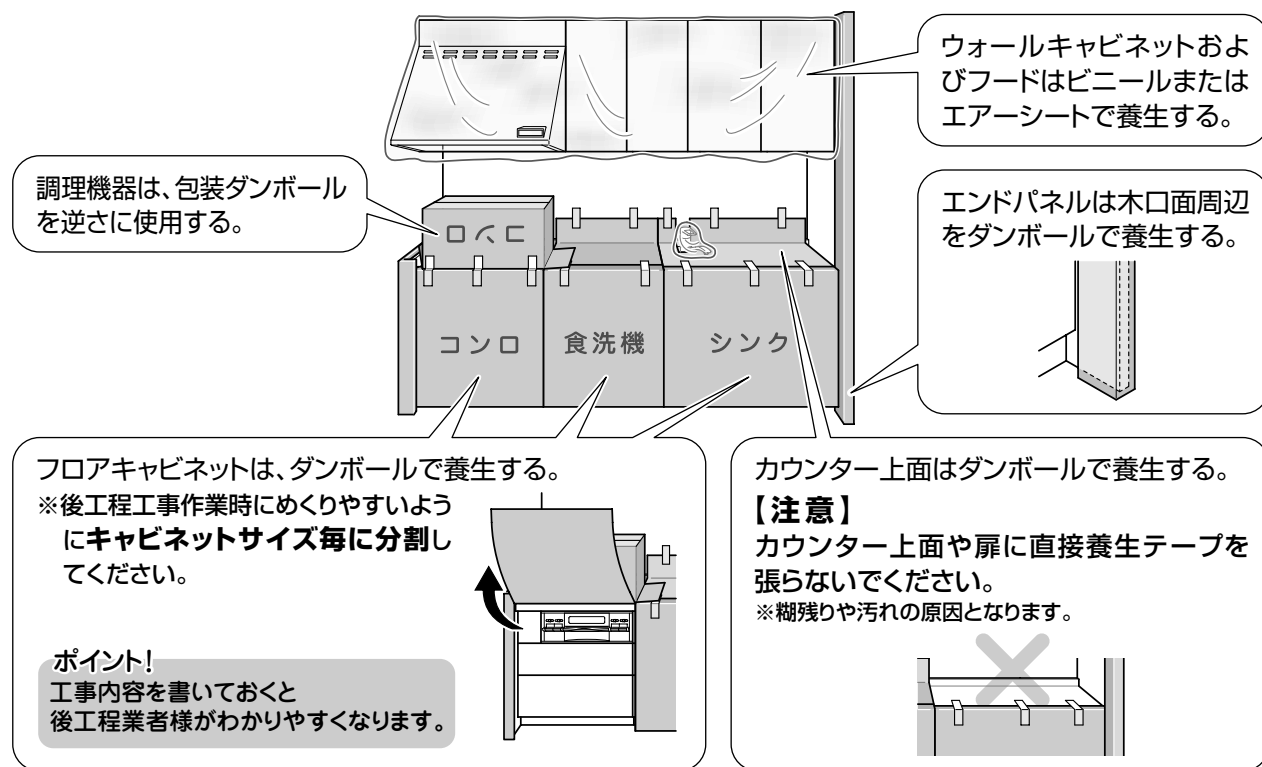
外観・機能・傷などのチェックを行い、シンクキャビネット付属の「組立・設置完了報告書」と「メンテナンスラベル」に組立・設置業者名を記入してください。

【養生（下記養生ポイント参照）】

- キッチン取り付け後の設備、建築工事などで汚されたり・傷つけられたりしないように厳重に養生しておいてください。
- カウンター・シンク面の養生は特に厳重に行ってください。
- 養生材は、包装に使ったダンボールを使うか、現場手配のエアシートなどを使うなどして保護してください。
- 後仕事（配管工事など）をする方のために組立・設置説明書を養生の上からマスキングテープで張っておいてください。



養生ポイント キッチン取り付け完了後はクリーニングをしたあと、下記要領にて養生をしてください。



必ず検査を実施してください。

「組立・設置完了報告書」の現場張り付け用紙（4枚目）を養生の上から張ってください。

組立・設置業者様控え用紙（2枚目）は持ち帰り保管してください。発注元提出用紙（3枚目）は発注元へ提出してください。

組立・設置業者様へ

各種取扱説明書は必ずシンクキャビネット内にまとめてお引き渡しください。